

●災害時の外国人支援について

札幌市では、災害発生時の外国人支援の一環として、平成 25 年 3 月に札幌国際プラザと「災害多言語支援センター」の設置・運営に関する協定を締結しました。

同センターは、大規模災害が発生した際に、多言語での災害情報の提供や避難所巡回等を行うための支援拠点として、同プラザ内に設置されます。

また、避難所で必要な情報を多言語で掲示するための「避難所多言語シート」を作成し、基幹避難所として認定された小・中学校などへ順次設置するほか、防災知識普及の取り組みとして、避難時に必要な情報を多言語で記載した「災害時ポケットガイド」を作成し、広く外国籍市民に配布します。

札幌市では、こうした災害時の外国人支援体制の整備を進めていくことに加え、外国籍市民と他の市民が共に参加する防災講座・訓練を実施するなどして、双方の防災意識を高めていくとともに、災害に強いコミュニティづくりに取り組んでいきます。

1 災害時支援体制の整備

(1) 災害多言語支援センター

平成 25 年 3 月 29 日、札幌国際プラザと同センターの設置・運営に関する協定を締結。

- ① 目的：大規模災害が発生した際に、外国人の避難や避難生活、生活復興を支援する
- ② 業務：
 - ア 翻訳・情報発信業務
災害対策本部の情報を翻訳し、地域 FM やホームページで情報発信を行う
 - イ 電話・窓口対応業務
災害対策本部の外国語窓口として、外国人や海外からの問い合わせに対応
 - ウ 避難所巡回業務
市内の避難所を巡回し、外国人の避難状況把握や避難所の環境整備等を行う
- ③ 役割：
 - ア 札幌市
 - ・同センターの設置要請
 - ・災害対策本部や同センター、外国公館等との連絡調整・情報提供
 - イ 国際プラザ
 - ・同センターの設置運営および運営に必要な行動計画の策定
 - ・平常時における防災知識の普及啓発活動
- ④ 設置時期：札幌市が災害対策本部を設置し、同センターの設置を要請した時点
- ⑤ 設置場所：札幌国際プラザ内（札幌国際プラザ被災時は札幌市が確保）
- ⑥ 費用負担：原則、同センターの活動を行うために必要な費用は札幌市が負担する

(2) 避難所多言語シート

避難所における情報伝達手段として、避難所で必要な情報を多言語で掲示するためのシートを作成。

- ① 作成部数：350部
- ② 使用言語：6カ国語（日本語、やさしい日本語、英語、中国語（簡体字）、
ハングル、ロシア語、タガログ語）
- ③ サ イ ズ：A3版、105ページ
- ④ 内 容：避難所で必要となる52文例を掲載
- ⑤ 設置場所：基幹避難所として認定された小・中学校約300カ所へ順次設置

2 防災知識の普及

(1) 災害時ポケットガイドの作成・配布

避難時にとるべき行動などについて、ピクトグラム（絵文字）と多言語で記載した「災害時ポケットガイド」を作成。

- ① 作成部数：20,000部
- ② 使用言語：5カ国語（日本語、英語、中国語（簡体字）、ハングル、ロシア語）
- ③ サ イ ズ：縦105mm×横74mm、折り畳み片面10面
- ④ 内 容：避難時の注意事項、緊急電話、災害時に使われる日本語、避難所情報、災害用伝言ダイヤル、災害用伝言版、冬期の避難、情報源、持ち物チェックリスト、携帯電話災害用伝言版、緊急地震速報、避難カードなど
- ⑤ 配布方法：転入者に対して、住民登録時^{*}に戸籍住民課窓口で配布。市内在住者へは世帯ごとへの郵送を検討中。また、市ホームページ上でも掲載予定。
※平成25年3月31日現在、札幌市の外国籍住民登録者数：9,071人

(2) 防災講座・防災訓練の開催

外国籍市民や日本人支援者等を対象とした防災講座を開催し、防災知識の普及と防災意識の向上を図るとともに、外国人が災害時に直面する課題などについて札幌市民と共有していく。

（参考：平成24年度に札幌市・国際プラザで実施した防災講座・防災訓練）

| No. | 開催日時/場所 | 行事名 | 講師等 | 内容 | 参加者数 |
|-----|--|---|--|--|------|
| 1 | 平成24年4月14日(土) 12:45～16:00 /札幌市市民防災センター | 留学生のための防災センター見学会 | 共催：札幌国際プラザ、札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワーク「SKY」 | 札幌市市民防災センターの見学・様々な体験を通じて、日本の地震や災害対策・救急方法等を学ぶ | 14 |
| 2 | 平成24年6月30日(土) 13:00～15:45 /札幌国際プラザ | 国際交流ボランティア講座「地域の中の外国人 災害時にどうなる？どうする？」 | 主催：札幌市社会福祉協議会 共催：(公財)札幌国際プラザ | 災害をテーマにした体験ゲームを通じて外国人・日本人がともに言葉や文化の壁について学ぶ。 | 30 |
| 3 | 平成24年8月31日(金) 9:00～12:00 /札幌市白石区東米里 | 外国籍市民を対象とした「防災ツアー2012」 | | 札幌市総合防災訓練に参加し、応急救護訓練、消火訓練、避難所見学などをおし防災知識を高める。(訓練は日本語で行う) | 35 |
| 4 | 平成24年10月13日(土) 12:45～16:00 /札幌市市民防災センター | 留学生のための防災センター見学会 | 共催：札幌国際プラザ、札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワーク「SKY」 | 札幌市市民防災センターの見学・様々な体験を通じて、日本の地震や災害対策・救急方法等を学ぶ | 14 |
| 5 | 平成24年11月23日(金・祝) 9:00～16:00 /札幌市市民防災センター | 札幌国際プラザバスツアー 「災害が起きたらどうする？外国人と一緒に学ぶサバイバル日本語」 | 講師：島 治美 氏(SIL札幌日本語学校 代表) | 外国人と日本人と一緒に防災体験施設を見学・体験し、災害時に必要な日本語を実践的に学ぶ | 39 |
| 6 | 平成25年2月2日(土) 14:00～17:00 /札幌市民ホール会議室 | 多文化共生ワークショップ ～災害 図上訓練(DIG)を通して多文化防災考える | 講師：時光氏((特活)多文化共生マネージャ全国協議会) 池田 誠氏((財)北海道国際交流センター) | 外国籍市民、支援者、多言語サポーター(HIECC)などを対象とした防災講座と災害図上訓練(DIG)を実施。 | 39 |

問い合わせ先

総務局国際部交流課 工藤、山田
電話：211-2032